

東吾妻町

さかうえ拠点バス停基本計画

令和 6 年 3 月

東吾妻町

目次

第1章	計画策定の主旨	1
1-1	背景及び目的.....	1
1-2	計画の位置付け.....	1
第2章	計画与件・現地の状況の把握	2
2-1	上位・関連計画の整理.....	2
2-2	計画地の概況	5
2-3	現地調査.....	8
第3章	住民・関係者等の意向把握	9
3-1	住民の意向把握	9
3-2	交通事業者、有識者の意向調査	10
第4章	さかうえ拠点バス停基本設計検討.....	11
4-1	所要室諸元・計画条件の検討	11
第5章	さかうえ拠点バス停基本計画	12
5-1	計画概要、基本計画図の作成	12
5-2	全体スケジュール	13

第1章 計画策定の主旨

1-1 背景及び目的

町では、町内の路線バスと小中学校のスクールバスを連携させた運行方法として、坂上地区において新たな輸送サービスの試験運行を開始しました。今後、大戸線との乗換え拠点として設置した「さかうえ拠点バス停（旧坂上小学校跡地）」について、交通結節拠点としてのみならず地域での暮らしと交流の中心となる地域拠点の整備を目指しています。

本計画は、さかうえ拠点バス停における拠点整備にあたり、拠点整備の基本設計・詳細設計に向けた基本的な計画策定を行うことを目的とします。

1-2 計画の位置付け

本計画は、下図に示すとおり、東吾妻町地域公共交通計画（令和4年3月策定）と整合を図ると共に、町の最も基本となる東吾妻町第2次総合計画や関連計画と連携して構築します。

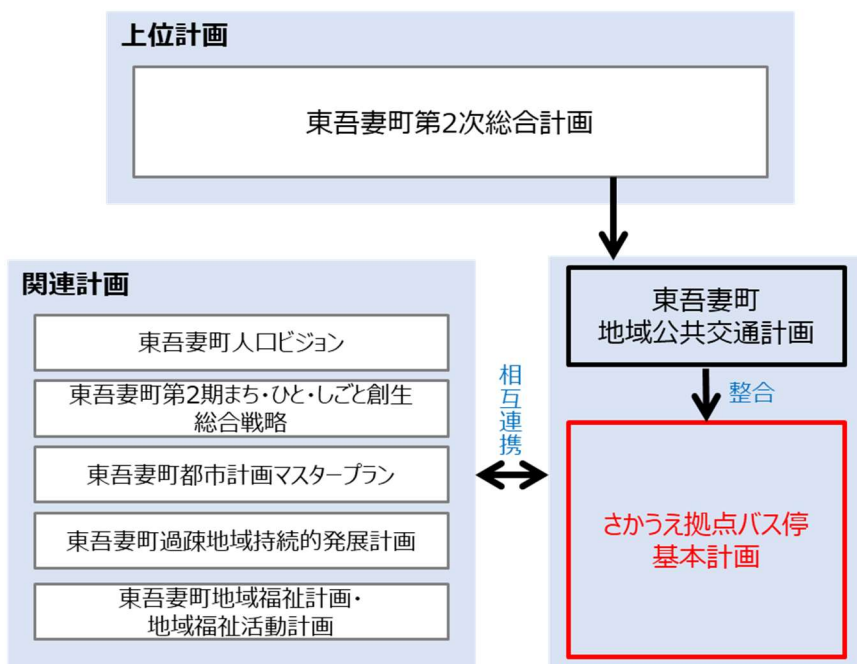


図1 上位・関連計画との関係

第2章 計画と件・現地の状況の把握

2-1 上位・関連計画の整理

公共交通の利用促進に関係する上位計画や関連計画の内容は次のとおりです。

①上位計画

<ul style="list-style-type: none">● 東吾妻町第2次総合計画 (2018→2027)● 後期基本計画 (2023→2027)	<p><基本構想></p> <ul style="list-style-type: none">● 東吾妻町の将来像<ul style="list-style-type: none">・ 住民が誇りを持って暮らすまち ～東吾妻 きみとあなたと～● 政策の大綱 まちづくりの基本目標<ul style="list-style-type: none">I. みんなで創る協働のまち【住民と行政の協働】II. 安全で暮らしやすいまち【社会基盤の整備】III. 自然と調和した暮らしができるまち【生活環境の向上】IV. 地域の恵みを活かした活力あるまち【産業の振興】V. 元気な声と笑顔があふれるまち【保健・医療・福祉の充実】VI. 豊かな心を育む学びのまち【教育・文化の充実】VII. 健全財政に向け徹底した改革に取り組むまち【行財政改革の推進】 <p><後期基本計画> ※公共交通に関する項目を抜粋</p> <ul style="list-style-type: none">● 基本目標<ul style="list-style-type: none">II. 安全で暮らしやすいまち【社会基盤の整備】● 基本施策<ul style="list-style-type: none">2-3.公共交通体系の強化● 基本方針<ul style="list-style-type: none">○ 「東吾妻町地域公共交通計画」に基づき、総合的な視点による地域公共交通の活性化や再編を図り、持続的な公共交通体系の維持を目指します。○ スクールバスと連携した地域内交通の導入による交通空白地の解消を図ります。● 施策の展開<ul style="list-style-type: none">1. 公共交通ネットワークを再構築します<ul style="list-style-type: none">○ 路線バスとスクールバスの連携を図るため、坂上地区で試験運行しているデマンド型運行の検証を重ね、本町の地域公共交通の現状や問題点、課題を整理し、その必要性やあり方について、地域公共交通活性化協議会の場を活かした検討を推進します。
--	---

① 関連計画

・東吾妻町人口ビジョン、東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

<p>● 東吾妻町人口ビジョン (2016～)</p>	<p>・基本目標1：だれもが知っているまちの実現。 ・基本目標2：だれもが働くことができるまちの実現。 ・基本目標3：気持ちよく住めるまちの実現。 ・基本目標4：だれもが生活しやすいまちの実現。 ・基本目標5：子育てにやさしいまちの実現。 ・基本目標6：教育の成熟したまちの実現。</p>
<p>● 東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020→2024)</p>	<p>● 基本目標 ① 東吾妻を知ってもらう。 ② 東吾妻で働くことができる。 ③ 東吾妻で住みたくなる。 ④ 東吾妻で家族を持ちたくなる。</p>
	<p>● 施策体系 基本目標3 東吾妻で住みたくなる。 ● 施策の基本的方向 (2) 生活利便性の向上 ● 基本施策 ※公共交通について抜粋 ② 公共交通ネットワークの再構築 新たなバス輸送サービス事業 ● KPI ・地域公共交通計画（マスタープラン）策定：未策定（2018年度）⇒策定</p>

・東吾妻町都市計画マスタープラン

<p>東吾妻町都市計画マスタープラン(2018→2038)</p>	<p>● 将来都市像 自然ゆたかなみんなのふるさと 世代を超えていきいきと暮らせる 交流のまち ● まちづくりの目標 I. 豊かな自然を活かし共生するまちづくり II. 多世代が安全で安心に暮らせるまちづくり III. 地域特性を活かした産業振興による活力あるまちづくり IV. 住民が主体となった持続可能なまちづくり 4-2 道路・交通体系の整備方針 基本方針 ・公共交通は、鉄道、路線バス、高速バス、タクシーにより確立し、市街地と各地域間をネットワークするバス交通網によって、集約型都市構造（コンパクト・プラス・ネットワーク）の形成を図ります。</p>
-----------------------------------	--

・東吾妻町地域公共交通計画

<p>● 東吾妻町地域公共交通計画 (2022→2026)</p>	<p>● 基本理念 多世代をつなぎ、地域の暮らしを支える公共交通</p> <p>● 基本方針 3 公共交通を軸とした、ゆとりある地域の暮らしを実現する拠点づくり</p> <p>● 施策 ○ 地域の暮らしを支える地域拠点の構築 ・人口減少、少子高齢化が進行する中、中山間地では商業施設の撤退や地域資源の担い手がいない等の問題点を抱える地域が多く、新たな交通サービスの活用と拠点整備による地域コミュニティ活性化と地域活力の向上を目指します。</p> <p>● 地域拠点の位置付け・方針 (さかうえ拠点) ・坂上地区岩島地区におけるスクールバス併用地域内交通 (デマンド型) の乗換え拠点とする。また、拠点整備による地域コミュニティ活性化と地域活力の向上を目指す。</p>
-----------------------------------	---

・東吾妻町過疎地域持続的発展計画

<p>● 東吾妻町過疎地域持続的発展計画(2021→2025)</p>	<p>5.交通通信体系の整備、交通手段の確保 (2) その対策 ②公共交通 ※公共交通について抜粋 ○ 「地域公共交通活性化協議会」を中心に地域に適合した実現性、実効性、持続性のある公共交通ネットワークの構築を検討していきます。 ○ 東京や県央とを結ぶ高速バス路線の整備推進をしています。</p> <p>(3) 事業計画 ○ バス停・バスターミナル整備</p>
-------------------------------------	--

・東吾妻町地域福祉計画・地域福祉活動計画

<p>● 東吾妻町地域福祉計画・地域福祉活動計画 (2022→2027)</p>	<p>● 基本理念 ①共生、②支え合い、③連携、④参加・参画 ● めざす姿 みんな幸せ 元気な声と笑顔があふれるまち 東吾妻</p> <p>● 基本目標 (1) あんしんと安全を高めよう (2) がまんしないですぐ相談 (3) つながろう、ささえよう (4) まること・おらがごと</p> <p>● 施策体系 ※公共交通について抜粋 (2) 福祉サービスの充実と適切な利用の促進 →施策②様々な困難を抱える町民の孤独・孤立防止 →主な事業 ・ 利便性の高い公共交通の構築及び再編 (路線バスとスクールバスの連携、デマンドバス)</p>
--	---

2-2 計画地の概況

町では、坂上地区において、路線バスとの連携を図り、定時定路線とデマンド運行の併用を実現し地域の実情に合わせた運行形態を導入しています。また、以下の「水仙ちゃんバスご利用ガイド」により地域住民へバス利用の促進を積極的に促しています。

ご利用方法

ぜひ利用してね

- 電話予約の準備**
 - 水仙ちゃんバス乗降ポイントマップ（中面）を見て、「乗車したいバス停」を確認してください。
 - 「行き先」、「バスに乗車したい時間」を決めてください。
- 電話で予約する**
 - 総合受付へ電話し、「乗車したいバス停」、「行き先」、「バスに乗車したい時間」を伝えてください。
 - お帰りの予定についても、あわせてお伝えください。
- 乗車できる時間を確認する**
 - 運行状況を確認し、オペレーターがバスに乗車できる時刻をお伝えします。
- バスに乗車する**
 - バスが来る時間に近くなったら、停留所（乗降ポイント）でお待ちください。

お問い合わせ

運行事業者 坂上地区 ローズクィーン交通株式会社 TEL: 0279-26-3171
大戸線 関越交通株式会社（吾妻営業所） TEL: 0279-75-3811
東吾妻町地域公共交通活性化協議会 事務局（企画課） TEL: 0279-68-2111

水仙ちゃんバスご利用ガイド

令和6年1月9日から
長野原町の「川原湯温泉駅」と
「道の駅ハッふるさと館」
に接続します！

令和6年1月版

総合受付 ☎0279-26-3770

（ローズクィーン交通専用ダイヤル）
予約受付時間：午前8時～午後5時
（日曜・祝日・年末年始を除く）

運行時間

月曜日～土曜日（祝日を除く）
午前8時～午後7時
なお、朝の時間帯（午前6時40分～午前8時05分）のみ、決まった時間で運行します。詳しくは、総合受付までお問い合わせください。

運行区域

東吾妻町大字 大戸、萩生、本宿、須賀尾、大柏木の区域（坂上地区）、高崎市倉渚町の一部及び長野原町の一部において運行します。
原町・中之条方面へは大戸線（関越交通）に乗り継いで行けます。

乗降場所

中面の「水仙ちゃんバスの乗降ポイントマップ」をご確認ください。

運賃制度

※朝夕は中学生スクールバス併用（全額公費負担）

区域内均一運賃

大人 200円
小人 100円

※小人：小学生以下
身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をご提示いただくと、運賃が半額になります。
電子決済は、PayPayが使用可能です。※大戸線（関越交通）については Suica・PASMO 等が使用可能です。

※朝夕は中学生スクールバス併用（全額公費負担）

原町・中之条方面への乗換きは
100円割引（小人は50円割引）

大戸線と相互に乗り継ぐ場合、100円の割引が適用されます。（小人は50円割引）

お得な回数券など

区域内回数券 2,000円券（発売額1,000円）
共通フリーパス券 半年間大戸線まで乗り放題（高校生・高齢者対象）（発売額30,000円）

坂上地区 水仙ちゃんバスの乗降ポイントマップ

ご利用の際は、表面の「ご利用方法」をご確認ください。

総合受付 ☎0279-26-3770 予約受付時間：午前8時～午後5時

※マップ上の黄色の乗降ポイントは、令和6年1月9日から利用できます。

凡例

- 関越交通(株)運行(路線定期運行)
- ローズクィーン交通(株)運行
- 拠点バス停 (旧坂上小学の校庭)
- デマンド区域運行乗降ポイント
- 路線定期運行の停留所(乗降ポイント)

主な停留所	時刻表
大戸線	7:00 7:20 7:40 8:00 8:20 8:40 9:00 9:20 9:40 10:00 10:20 10:40 11:00 11:20 11:40 12:00 12:20 12:40 13:00 13:20 13:40 14:00 14:20 14:40 15:00 15:20 15:40 16:00 16:20 16:40 17:00 17:20 17:40 18:00 18:20 18:40 19:00 19:20 19:40 20:00 20:20 20:40 21:00 21:20 21:40 22:00 22:20 22:40 23:00 23:20 23:40 24:00

主な停留所	時刻表
大戸線	7:00 7:20 7:40 8:00 8:20 8:40 9:00 9:20 9:40 10:00 10:20 10:40 11:00 11:20 11:40 12:00 12:20 12:40 13:00 13:20 13:40 14:00 14:20 14:40 15:00 15:20 15:40 16:00 16:20 16:40 17:00 17:20 17:40 18:00 18:20 18:40 19:00 19:20 19:40 20:00 20:20 20:40 21:00 21:20 21:40 22:00 22:20 22:40 23:00 23:20 23:40 24:00

※さくらえ(拠点)で乗車し、各停留所から降車した場合の運賃

この地図の作成に当たっては、最新地図情報を使用した。「測量法に基づき国土院院長承認(標準) 8.2m/50M」

①さかうえ拠点バス停の位置

さかうえ拠点バス停は、国道406号と（主）中之条東吾妻線が交差する大戸交差点から西に約2kmに位置にあり、坂上公民館・坂上小学校などの公共施設と共に生活・地域コミュニティとしての拠点形成が期待されています。

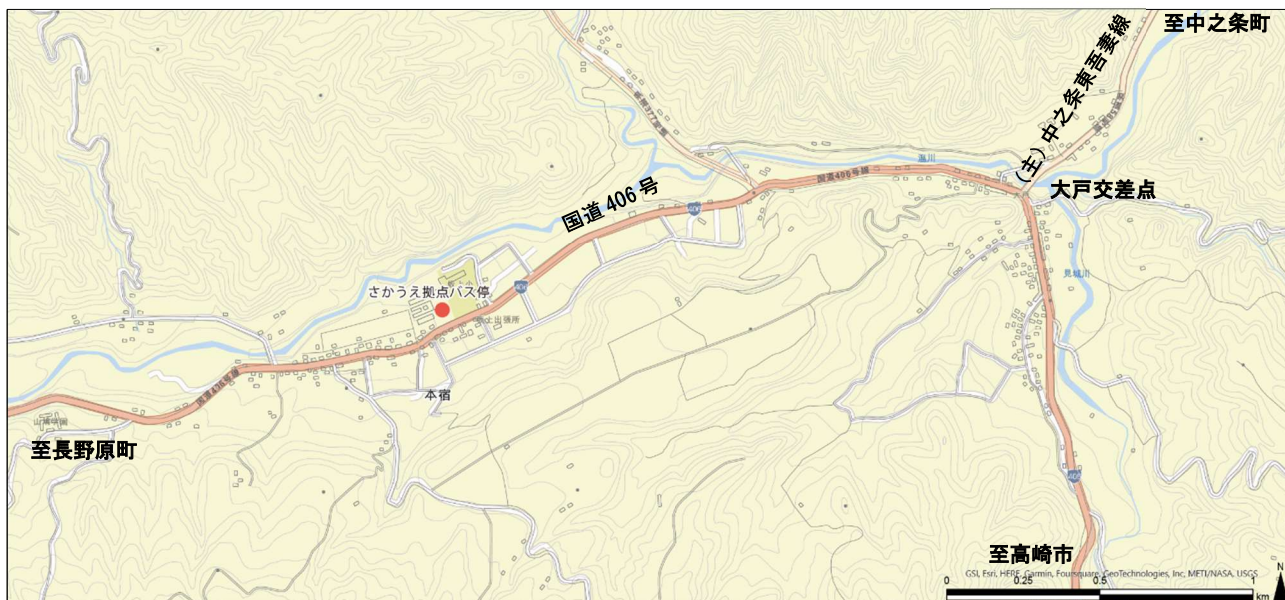


図 2 さかうえ拠点バス停位置図

②さかうえ拠点バス停周辺の交通動線

坂上地区では、4路線（大戸線、権田萩生線、大柏木線、須賀尾線）が運行されており、令和3年1月8日から路線バスとスクールバスが連携した新たなバス輸送サービスを行っています。

また、さかうえ拠点バス停周辺には、坂上公民館バス停、さかうえ児童クラブ前バス停が存し、生活・地域コミュニティとしての拠点形成に重要な役割を担っています。



図 3 さかうえ拠点バス停周辺交通動線図

③さかうえ拠点バス停周辺の道路現況

さかうえ拠点バス停へアクセスする国道406号では、当該拠点の西側端部（A）からS字カーブとなっており視認性に課題があります。このため、当該拠点から国道406号への出入りする場合、Aの位置よりも、そこから東側に一定の距離を確保したB地点の方が視認性が良いため安全性の向上が期待されます。



図 4 さかうえ拠点バス停周辺道路現況図

2-3 現地調査

現地調査状況を次のとおり示します。(令和4年11月14日撮影)



旧坂上小学校入口付近
(入口から西方面への視認性が悪い道路形状となっている)



待合所の様子



現地全景概況

第3章 住民・関係者等の意向把握

3-1 住民の意向把握

坂上地区住民のさかうえ拠点バス停（旧坂上小学校跡地）への意向・要望について、令和3年度に実施した「坂上地区利用者アンケート調査結果」から、必要な施設・機能としては「商店・コンビニ」が最も多いことを把握しました。

（1）調査の概要

表 1 調査概要

項目	内容
調査対象区域	東吾妻町坂上地区
調査対象者	坂上地区の区長及び班長（133名）
調査方法	アンケート調査票及び返送用封筒を対象者へ郵送
調査期間	令和3年12月～1月

（2）調査票回収結果

表 2 調査結果概要

項目	内容
回収期間	令和3年12月24日（発送日）～令和4年1月7日（締切日）
調査票発送数	133通
調査票回収数	75通
回収率	56.4%

(3) 必要な施設・機能

表 3 坂上地区アンケート調査結果の分析概要

項目	概要
さかうえ拠点バス停に必要な施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> ・「商店・コンビニ」と答えた方が最も多く、次いで「ガソリンスタンド」「無料で使える休憩スペース」が多く選択された。 ・拠点整備にあたっては、「商店・コンビニ」を核とするとともに、地区住民が休憩に使えるコミュニティースペースを設置する必要がある。 ・また、ガソリンスタンド需要は地域社会に直結する課題であることから、設置場所の検討が必要である。

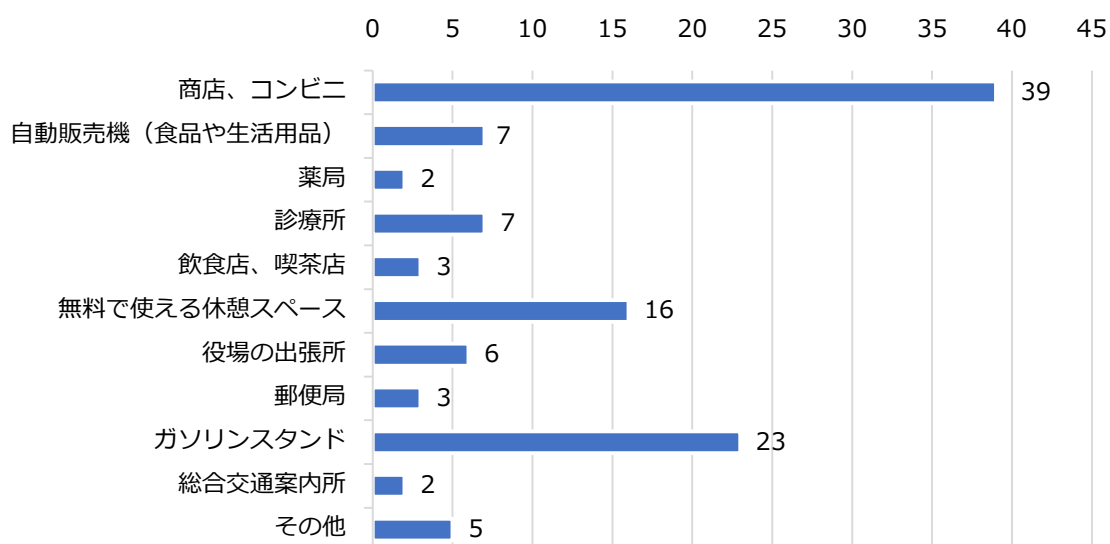


図 5 さかうえ拠点バス停への要望

3-2 交通事業者、有識者の意向調査

交通事業者、有識者等に対して、さかうえ拠点バス停の機能及び機能のあり方についてヒアリングを行いました。

主な意見としては、「移動販売車が停まれるようになると良い。」、「一般車については授業参観等のイベント時に多くの利用が見込まれる。」、「不審者が入らないよう子供たちの安全対策が必要。」、「横断歩道については撤去ではなく拠点入口を避け移設した方がよい。」などが挙がりました。

第4章 さかうえ拠点バス停基本設計検討

4-1 所要室諸元・計画条件の検討

住民ニーズ、交通事業者等へのヒアリング結果を踏まえ、所要室諸元・計画条件を次のとおり検討しその結果を示しています。

《所要室諸元》

	項 目	仕 様
【計画所要室】	・待合室(収容)	・3人掛けベンチ×6（移動可能なもの）
	・情報案内	・パンフレットスタンド、ホワイトボード
	・多目的トイレ	・寝台、オストメイト、給湯
	・女子トイレ	・大2
	・男子トイレ	・大1、小2
	・除雪等管理用具倉庫	・掃除道具、消耗品ストック等、鍵付き物置でも可能
【他所所要室】	・乗務員休憩	・3名を想定、小規模で可（防犯的に待合室と併用）、パーテーションなどでも可
	・ボランティアの拠点室	・不要
	・地域物品販売	・不要
【付帯設備】	・WIFI設備	・将来的に設置が可能となるように整備
	・冷暖房	・待合室（乗務員室）、トイレ（電気式暖房、便座）
	・情報用デジタルサイネージ等	・不要
	・再エネ設備	・不要
	・その他	・待合室の照明（室内室外：タイマー式）、トイレ照明（センサー式）
【計画屋外施設】	・バス乗り場	・寒冷地に対応できるもの ・屋外にベンチ
	・移動販売車等	・屋根付き2台分＋フリースペース
	・一般駐車場	・40台程度、こども園側は停車帯のみとする。
	・自販機置場	・待合室付近もしくは室内
	・その他	・乗降場所の屋根は、一体型で無くても良い ・外灯（防犯灯）の設置

《計画条件》

	項 目	方 針
【計画地】	・敷地範囲	・案を基本とする。
	・敷地外工事	・フェンス、樹木など
	・給排水先・経路	・既設に接続
	・その他	・道路は町道として整備（認定要件：幅員4m以上）
【仕様】	・木造等構造の要望	・イニシャル・ランニングコストの抑制
	・材料等の要望	・イニシャル・ランニングコストの抑制
【運営・管理方針】	・観光客への施設の対応※ ※（観光客の二次交通利用検討への対応）	・可能であるが、運行時間等が限られている。 ・車両が小型であるため、団体は難しい。
	・観光バスへの施設の対応※	・運用共引き続き検討。
	・施設範囲	・運用共引き続き検討。
	・管理者常駐有無	・無し
	・除雪者と施設の対応	・10cm以上は委託とし、それ以下は乗務員による。

第5章 さかうえ拠点バス停基本計画

5-1 計画概要、基本計画図の作成

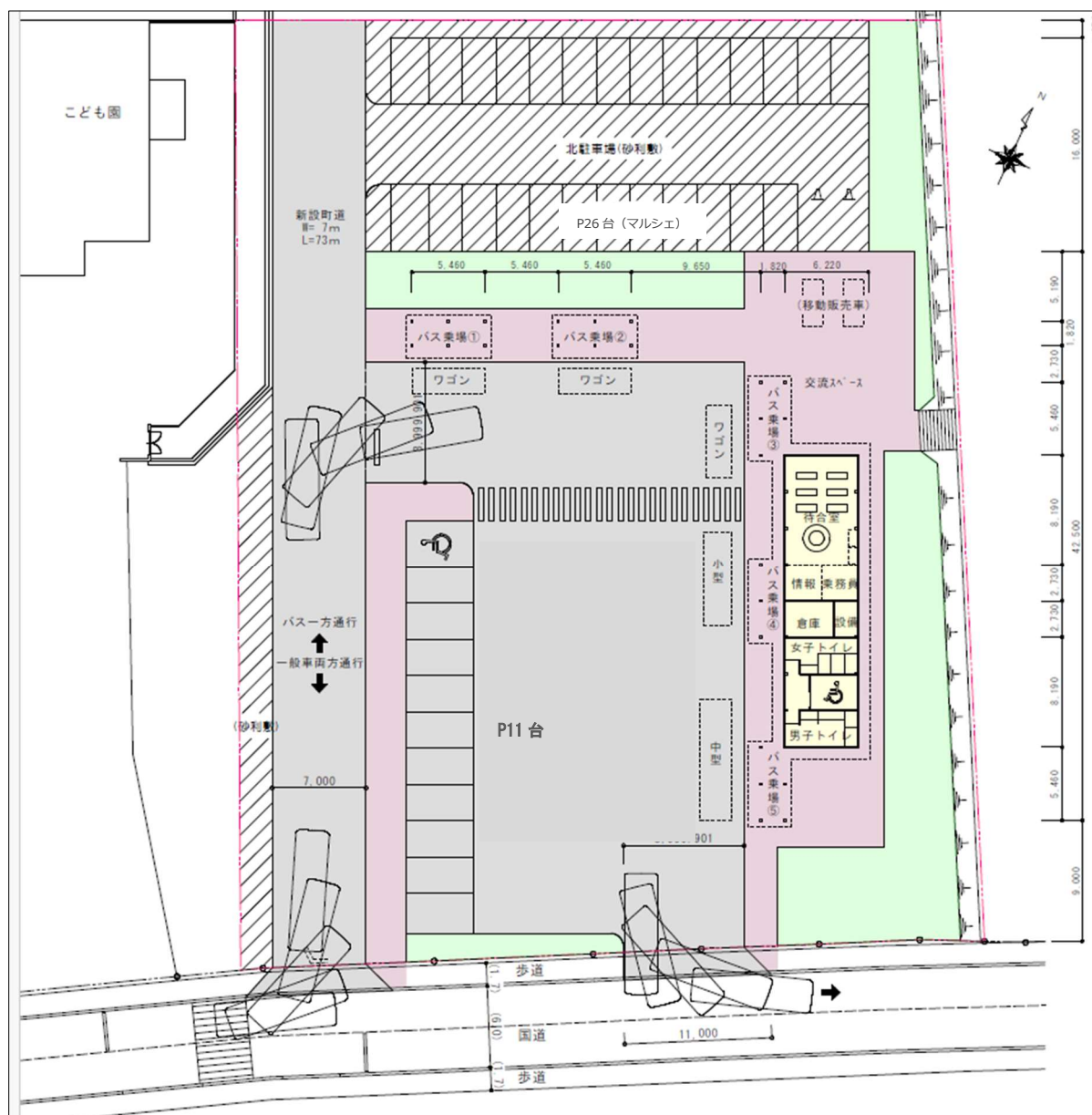
前章で検討した計画条件等を踏まえ、次のとおり計画概要、基本計画図を作成しています。なお、事業費の縮減を図るため、必要な機能は残し規模の圧縮・仕様の見直しを行っています。

基本設計、詳細設計の段階でも、状況に応じ必要な見直しを行うことが必要です。

《計画概要》

計画地番	群馬県吾妻郡東吾妻町本宿地内	
敷地面積	約3,700㎡	
地目地積	－	
区域区分	都市計画区域外	
建物用途	08310 公衆便所、休憩所又は路線バスの停留所の上屋	
確認区分	別表1(4)待合扱い200㎡超で1号特建・木造500㎡超で2号 木造以外200㎡超で3号・その他で4号	
構造規格	木造又は鉄骨造	
屋 根	カラーガルバリウム鋼板葺き	
外 壁	木板張自然塗料等	
外 床	カラーアスファルト舗装	
軒 天	木板張自然塗料塗・鋼板不燃裏打表し等	
内 壁	木板張自然塗料・メラミン化粧板等	
内 床	塗床	
天 井	木板自然塗料等	
建築面積	168.93㎡	
延床面積	168.93㎡	
所要諸室	面 積	仕 様 等
待合室	44.72㎡	(移動ベンチ3人 x 6程度)・空調・自販機
乗務員コーナー	7.45㎡	(3人程度)・空調
情報コーナー	7.45㎡	(パノフレットスタンド・情報掲示)・空調
B F トイレ	9.94㎡	車いす対応・オストメイト・寝台・幼児い・給湯
女子トイレ	13.80㎡	大2・幼児い
男子トイレ	13.80㎡	大1 小2・幼児い
倉 庫	9.94㎡	(除雪等管理用具収納)
設備ほか	12.14㎡	
(建物内計)	(119.24㎡)	
交流スペース	0.00㎡	屋根なし(移動販売車2台)
バス乗場	49.69㎡	屋根付き(ベンチ)
合計	168.93㎡	
駐車場		37台 北側駐車場は碎石敷
その他	防犯灯・防犯カメラ・将来WIFI対応・浄化槽(5人) 町産木材検討	

《図6 基本計画図》



5-2 全体スケジュール

全体スケジュールは以下のとおりとしています。

年度	令和3年度	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度			
四半期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
計画策定・設計	基本構想	基本計画								基本設計				詳細設計							
ヒアリング等																					
施工関連																		確認申請	施工	完了	